事業名	期日	場所
今金地方食品衛生協会定期総会	６月８日	町民センター

活動内容	町長の想いや願い
せたな町・今金町の１９３施設で構成している今金地方食品衛生協会定期総会が開催されました。 螺良会長からは、先に（５月１７日）行われた全道食協総会の状況報告を兼ねての挨拶がありました。昨年度の食中毒発生からの反省と更なる指導強化を図りつつ、北海道は農・漁業生産物の食材を生かした事業展開が必要であるとの知事メッセージがあったことも伝えられました。 原点に帰り　“先ずは　手洗い”の励行から・・・と挨拶をされました。 町長からは、食品衛生の歴史は古くは、ヨーロッパから始まり、検疫・清掃・消毒を柱とした取締としての衛生警察から端を発して公衆衛生気運が広まり１６０年前に公衆衛生法が制定されたという歴史がある。日本には遅れて２０年後の明治４年に必要性が唱えられ、明治１９年には所管はヨーロッパと同じく警察部局の業務であった。	昭和１２年に保健所法ができたことで、警察から行政指導にシフトされた。 しかし、終戦前後のメチルアルコール中毒による（昭和２０・２１年）２２４４人の死亡などが契機となったものと思われるがさまざまな規制や指導が強化され今日に至っているのではと思いの一端をのべました。最近では、放射性物質対策に対しての関心も高まり、対応に努めていかなければならないところです、との挨拶をしました。 提出議案は、承認され、役員改選では、大成地区副会長の補充以外は引き続き役職を担うことになりました。 総会に先立ち、渡島総合振興局超表彰で“まるびし旅館　菱田敏子さん”が、食品衛生優良施設として“日本料理わたなべ　渡辺正治さん”が会長表彰を受けました。 誠におめでとうございます。







